

Imaging Team

掲載内容

Meta Imaging Series 情報

バージョン 7.5.4 について

「画像重ね合わせ機能」について

#40090 DAQ2000 PCI ボード・ケーブルキットの販売中止について

#40173 Leica CCD カメラドライバの金額変更のお知らせ

新商品紹介

Chamlide WP96 のメインボディー改良のお知らせ

Chamlide TC に 35mm デイッシュが 2 つ固定できるホルダーを用意しました。

precisExcite LED に新しいコリメータ pE-2 の追加情報

Journal について

Variable(変数)についての基本的な紹介

Meta Imaging Series 情報

バージョン 7.5.4 のリリースについて

6月10日に Version 7.5.4 がリリースされたことを、先月のセールスノートで紹介させて頂きましたが、リリース直後、若干のバグが確認されまして、アップデート用ファイル MM754-32.zip および MM754-64.zip が 6月下旬に変更されました。

リリース後、すぐにアップデート用ファイル(MM754-32.zip、MM754-64.zip)をダウンロードされた方は、現在のアップデート用ファイルを再度ダウンロードしてご使用ください。

画像重ね合わせ機能について

現在、画像重ね合わせ機能は、下記の2つのオプションとして紹介しております。

<MetaMorph Basic のオプションとして>

Parts# 40059 画像重ね合わせ機能 ¥220,000-

<MetaVue のオプションとして>

Parts# 31110 画像重ね合わせ機能オプション ¥160,000-

2008年8月1日からのご注文に関してですが、新規 MetaMorph Basic、MetaMorph Basic Offline、MetaVue を新規で購入される場合、それぞれのオプションを無償で提供することになりました。

ただし、既にお持ちの MetaMorph Basic 及び MetaVue にオプション追加の場合には有料対応になりますので価格表はそのままお使い下さい。

#40090 DAQ2000 PCIボード・ケーブルキットの販売中止について

従来、Piezo Zなどを制御する場合に販売しておりましたDAQ2000オプションですが、販売中止となります。今後Piezoなどを電圧制御されるご要望があった場合は、後継機種・上位機種になります下記をご購入下さい。

40816 8Channel DAQボード・NEOS AOTFケーブルキット ¥480,000-(定価、税別)

(NEOS AOTF制御時には、40010 イルミネーションドライバが別途必要です。40093 アナログインプット使用時、40116ピエゾZ軸ドライブ[PiFOC]使用時、Ludl社製PiezoZステージ使用時ならびに、40010 モノクロメータ使用時には別途ドライバが必要です。)

#40173 Leica CCDカメラドライバの金額変更のお知らせ

DFCシリーズのカメラドライバは、現在定価11万円で販売しておりましたが、8月1日付けで定価を下記のように変更致します。

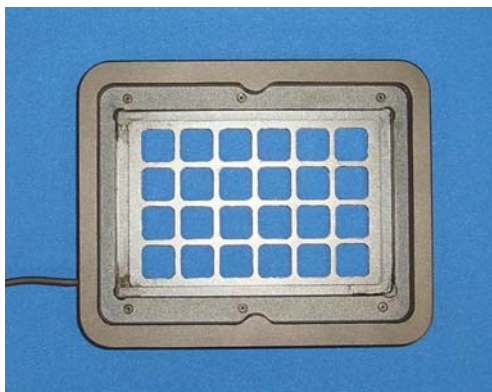
40173 Leica CCDカメラドライバ ¥310,000-

新製品情報

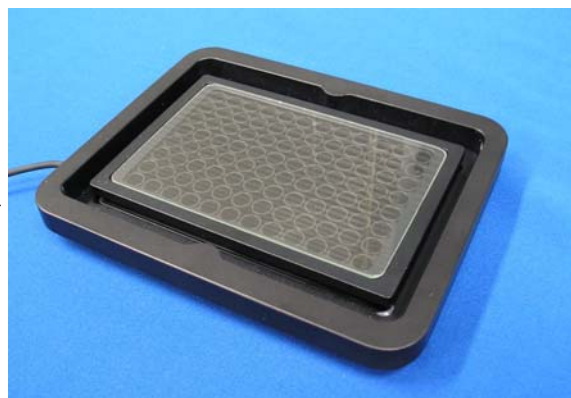
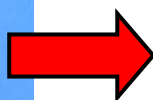
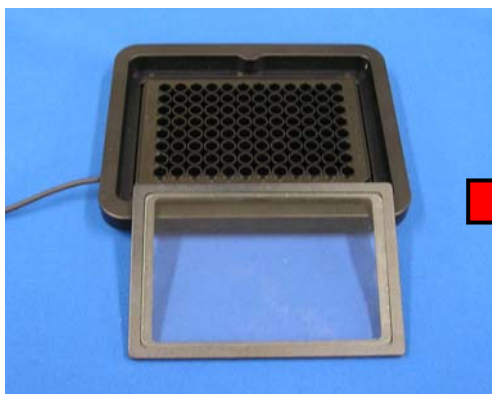
Chamlide WP96 のメインボディー改良のお知らせ

従来のように 96 穴ごとに空いていたものから 4 つごとに穴を開けたものに改良をしました。

枠を広げることにより、作動距離の短い高解像度レンズの使用時、Hole 周囲の観察の際にボトムプレートに干渉することがありましたが、今回の形状により干渉を抑えることが可能になりました。油浸レンズの使用も可能になりましたが、96Well の観察には油膜切れなどの問題から、ドライレンズの使用を推奨致します。

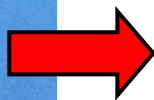


さらに WELL に専用ガラスカバーを作成しました。DIC 等の撮影に便利で、湿気保持に有効です。



Chamlide TC に 35mm ディッシュが 2 つ固定できるホルダーを用意しました。

Chamlide TC シリーズのホルダーのラインナップが増えました。

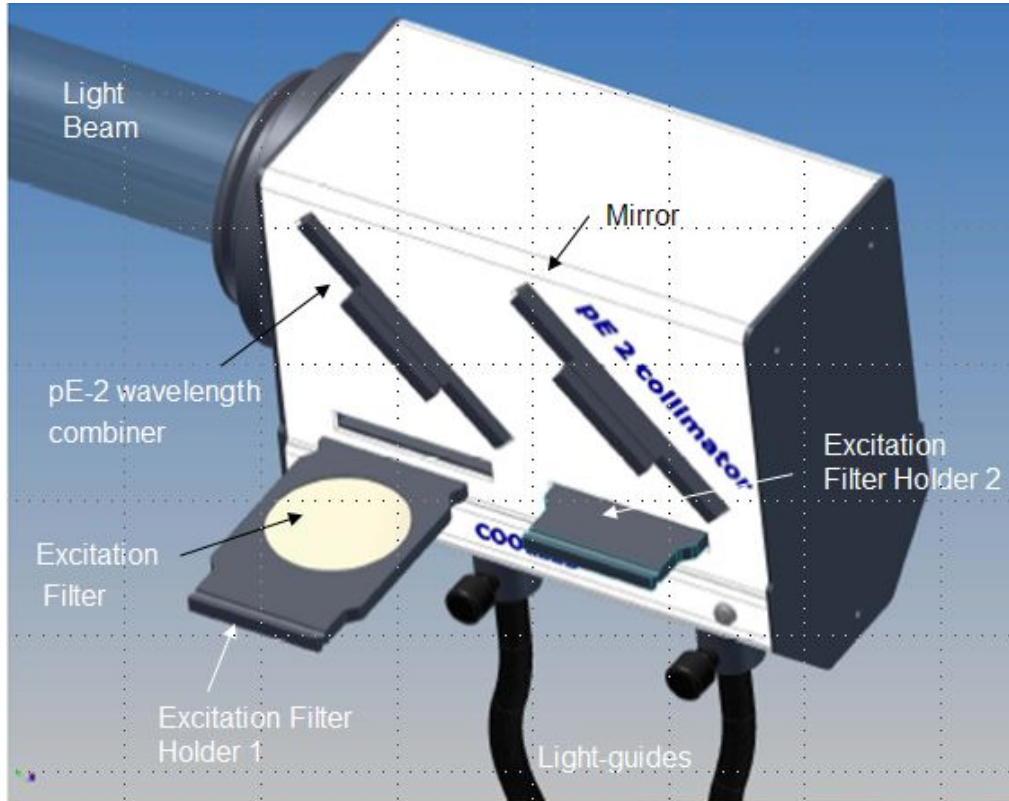


お客様に合わせて、特殊用途のホルダなども対応しておりますので、ご要望は各営業担当までご連絡、ご相談ください。

precisExcite LED に新しいコリメータ pE-2 の追加情報

FY0806(先月)のセールノートにて pE-2 のリリース紹介をしました。今回は、追加の情報と金額の紹介をします。

pE-2 の特徴としましては、励起フィルターを短波長側に 1 枚、長波長側に 1 枚をそれぞれ実装できることです。(下記の図の、Excitation Filter の部分に相当します)



さらに従来のコリメータ、新しいコリメータ pE-2、それぞれの共通な特徴としまして、

- 1) 波長切り替えが、300 μ sec 以下です。
- 2) 従来の 3 波長までの波長構成から、さらに 4 波長まで対応可能になりました。
(4 波長対応の組み合わせ例 ; 400/465 + 525/635)

<定価(税別)>

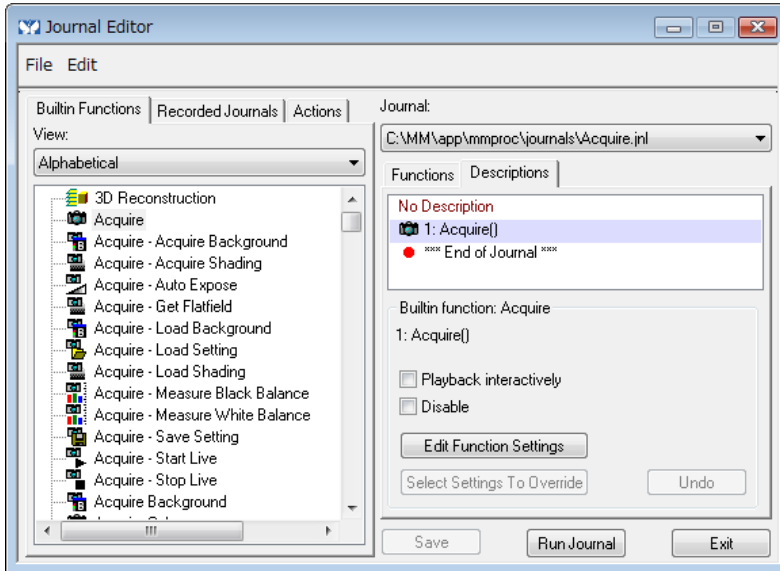
3 波長対応の LED 光源ユニット (pE-2 コリメータの場合)	¥1,740,000-
pE-2 新タイプコリメータ(単体)	¥480,000-

Journal について

Variable(変数)についての基本的な紹介

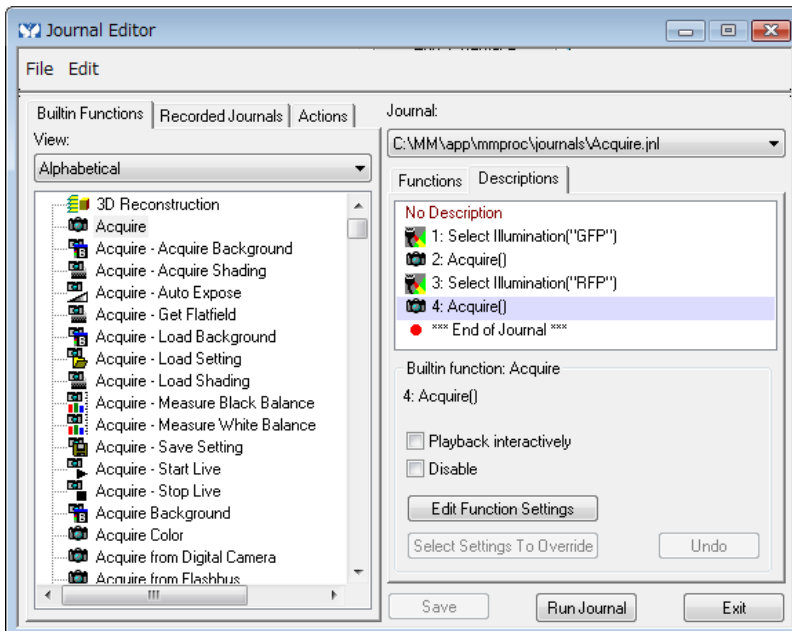
MetaMorph のマクロ機能である Journal は、様々な項目リストから MetaMorph の機能を登録して、動作させることが可能です。

例えば、下記のような Journal の場合は、「Acquire」で 1 枚の画像を取得するというを行うためのものです。

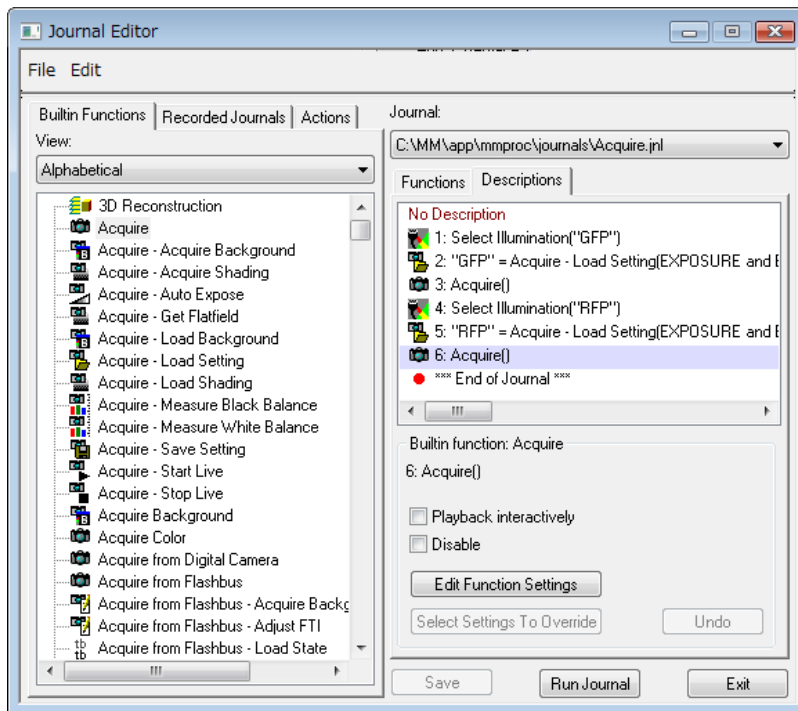


ただし、通常ある機能だけでは不十分な場合があります。

例えば、GFP と RFP の画像を取得するような Journal の場合、下記のようになりますが、露光時間が同じ条件になってしまいます。



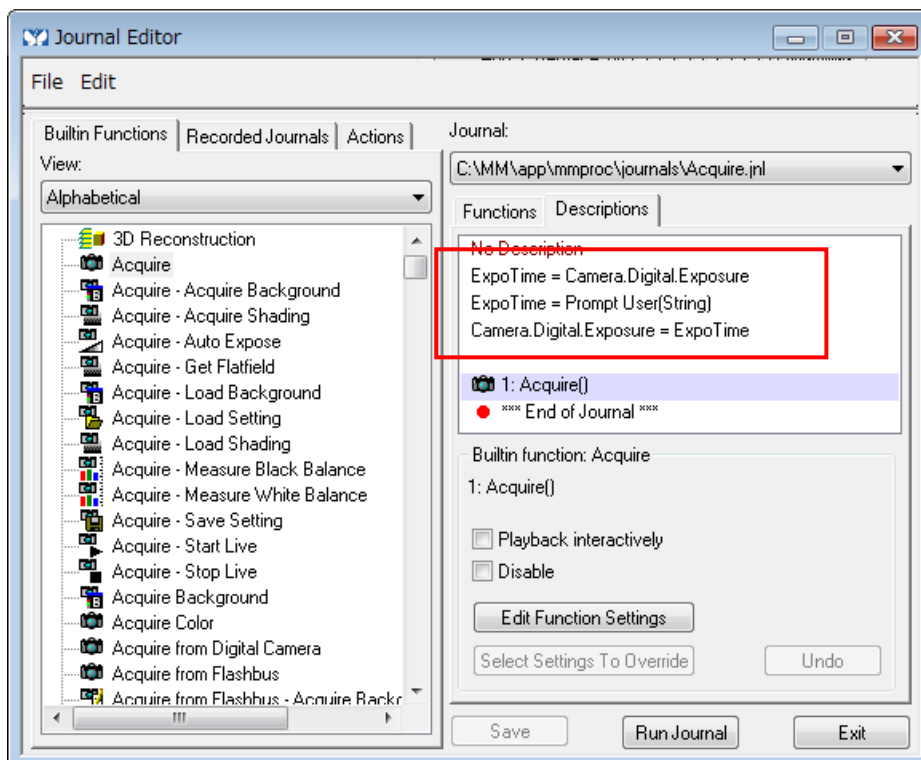
そこで Acquire の前に、Load setting を入れることで Acquire の露光時間の異なる設定をそれぞれ Load してから行うことが出来ます。



しかし、この方法にも限界があります。

それは、サンプルにより露光時間を「任意」に毎回設定したいということがあるということです。

この場合になって Variable (変数) を設定することができます。



赤い四角で囲んだ3行の部分では、まず始めに「ExpoTime」という名称を定義し、露光時間を設定している「Camera.Digital.Exposure」に置き換えています。次に Prompt で「整数値」という意味の String を設定できるようにしており、最後にその値をもう一度、「Camera.Digital.Exposure」に戻すことで、Acquire の露光時間を、Prompt で入力した値にするということが可能です。

以上